

出水市の潜在患者も

水俣病審査会が診断

県は水俣病審査会（会長貫田丈夫熊大教授）に委嘱して、水俣病潜在患者の審査を今月中旬ごろか

ら始めるが、鹿児島県下の患者について本県で審査することになった。

現在、潜在患者として審査の対象になっているのは十四人で、このうちには出水市の四人が含まれ

ている。ところが水俣病審査会は本県の機関であるところから、行政的には出水市の患者を審査する権限がない。

そこで県衛生部では、鹿児島県と協議した結果、本県が委託審査することとで両県の話し合いがついたもの。近く鹿児島県から審査

申請が出る予定で、今月中旬ごろ健康診断を行なうが、実質的な審査会のメンバーが現地に行き、査は十二月になる見込み。